

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2006-151986(P2006-151986A)

【公開日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2006-023

【出願番号】特願2005-361126(P2005-361126)

【国際特許分類】

**C 0 7 K 14/46 (2006.01)**

**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 3/10 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 K 14/46 Z N A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月3日(2007.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エキセンジン - 4 ( 1 - 3 9 ) - L y s <sup>4 0</sup> ( - M P A ) - N H <sub>2</sub> からなる、改変されたインシュリン向性ペプチド。

【請求項2】

エキセンジン - 4 ( 1 - 3 9 ) - L y s <sup>4 0</sup> ( - A E E A - M P A ) - N H <sub>2</sub> からなる、改変されたインシュリン向性ペプチド。

【請求項3】

血液成分に共有結合した、請求項1に記載の改変されたインシュリン向性ペプチドを含む、結合体。

【請求項4】

前記血液成分が、血清アルブミンである、請求項3に記載の結合体。

【請求項5】

血液成分に共有結合した、請求項2に記載の改変されたインシュリン向性ペプチドを含む、結合体。

【請求項6】

前記血液成分が、血清アルブミンである、請求項5に記載の結合体。

【請求項7】

アルブミンに共有結合した、請求項1に記載の改変されたインシュリン向性ペプチドを含む、結合体。

【請求項8】

アルブミンに共有結合した、請求項2に記載の改変されたインシュリン向性ペプチドを含む、結合体。

【請求項9】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせて、請求項1または2に記載の改変されたインシュリン向性ペプチドを含有する、薬学的組成物。

## 【請求項 10】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせて、請求項 3 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の結合体を含む、薬学的組成物。

## 【請求項 11】

患者における糖尿病を処置するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、有効量の請求項 1 または 2 に記載の改変されたインシュリン向性ペプチドを含む、薬学的組成物。

## 【請求項 12】

患者における糖尿病を処置するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、有効量の請求項 3 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の結合体を含む、薬学的組成物。

## 【請求項 13】

患者におけるインシュリンの発現を増強するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、有効量の請求項 1 または 2 に記載の改変されたインシュリン向性ペプチドを含む、薬学的組成物。

## 【請求項 14】

患者におけるインシュリンの発現を増強するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、有効量の請求項 3 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の結合体を含む、薬学的組成物

。